

# 授業科目 呼吸系構造・機能・病態

【担当教員名】 佐藤 克郎		対象学年	2	対象学科	言語
		開講時期	前期 a	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	○		
【概要・一般目標：G10】 呼吸器の構造と機能・病態について概説した後、呼吸を利用する発声と構音のしくみ、ならびにその障害について学習する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 講義内容を整理し、理解して、説明できるようにまとめる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	呼吸器の基本構造				講義
2	呼吸運動				講義
3	呼吸機能検査				講義
4	主な呼吸器疾患				講義
5	発声・構音器の基本構造、音声の生理				講義
6	音声障害と疾患、構音とそのメカニズム				講義
7	構音障害と疾患				講義
8	まとめ				講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		音声系肺・喉頭・咽頭・口腔科学 一呼吸発声発語系の 構造・機能・病態一	中野雄一	考古堂	2010・2,000円＋税
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席・学習状況と定期的試験から評価する。			【履修上の留意点】		